

みやま市地方創生未来会議 報告書

令和元年11月

株式会社 YOUI

目 次

I. 地方創生未来会議について

- 1. 地方創生未来会議の設置について
 - (1) 目的 2
 - (2) 組織体制と位置付け 2
- 2. 全体スケジュール 3

II. 実施内容について

- 1 第一回目 4
 - (1) 実施概要
 - (2) ワークショップ内容
- 2 第二回目 6
 - (1) 実施概要
 - (2) ワークショップ内容
- 3 第三回目 9
 - (1) 実施概要
 - (2) ワークショップ内容
- 4 第四回目 1 1
 - (1) 実施概要
 - (2) ワークショップ内容

III. 総括

- 1. 地方創生未来会議の成果 1 4
- 2. 今後期待されること 1 4

< 参考資料 > 1 6

I. 地方創生未来会議について

1. 地方創生未来会議の設置について

(1) 目的

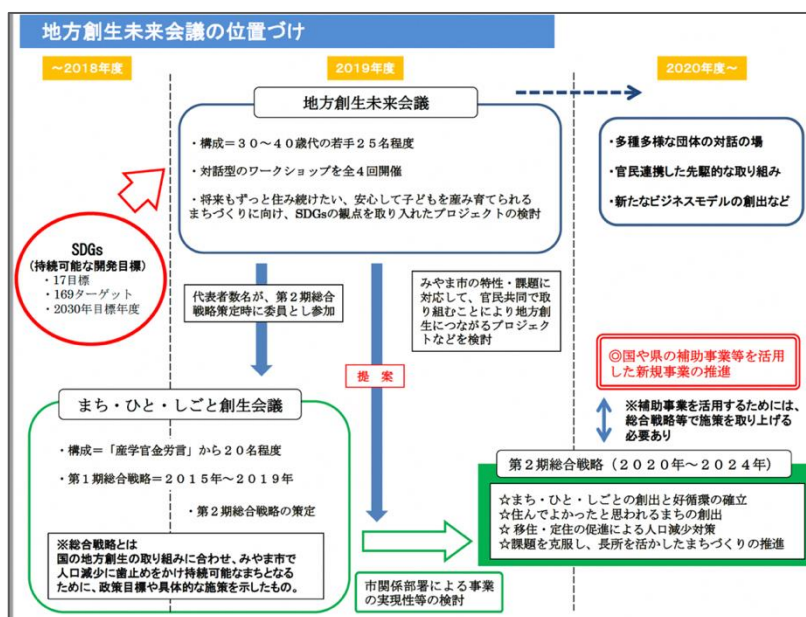
みやま市では、人口減少に歯止めをかけるための目標や方向、具体的な施策をまとめた「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しており、この策定に当たり、広く意見を反映させるため、市民代表や産官学金労言の委員で構成する「みやま市まち・ひと・しごと創生会議」を設置している。

2020年～2024年を計画期間とする「第2期まち・ひと・しごと総合戦略」を策定するにあたり、地方創生未来会議は、当該計画がより実現性の高い戦略となることを目的として、市内の30～40歳代の世代から参加者を募り、「将来もずっと住み続けたい、安心して子どもを産み育てられるまちづくり」に向け、SDGsの観点を取り入れたプロジェクトの検討をするために設置されたものである。

(2) 組織体制と位置付け

地方創生未来会議は、商工会青年部、漁協協同組合、青年会議所、JA青年部、観光協会、地域おこし協力隊、市役所の30～40歳代の委員で構成し、その事務局をみやま市企画振興課とする。

位置付けについては、下図の通り（みやま市企画振興課資料）。



2. 全体スケジュール

2019 年 7 月～2019 年 11 月の間に対話型のワークショップを全 4 回開催し、ワークショップ等を通じて地方創生に係る施策やアクションプラン等の検討を行った。

第 1 回目：2019 年 7 月 28 日（日）

第 2 回目：2019 年 8 月 25 日（日）

第 3 回目：2019 年 9 月 29 日（日）

第 4 回目：2019 年 11 月 7 日（木）

なお、日程の選定にあたっては、まち・ひと・しごと創生会議における内容と連関していくため、各回のまち・ひと・しごと創生会議開催後の日程とした。

Ⅱ. 実施内容について

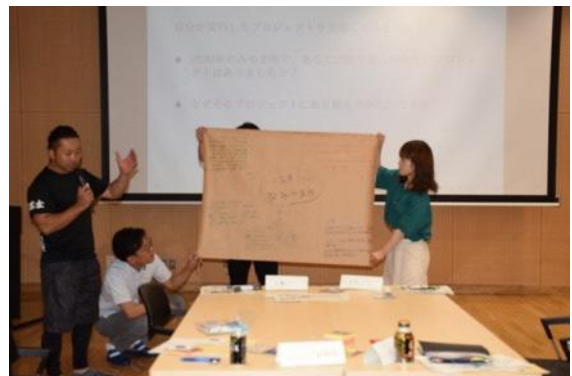
1. 第1回目

(1) 実施概要

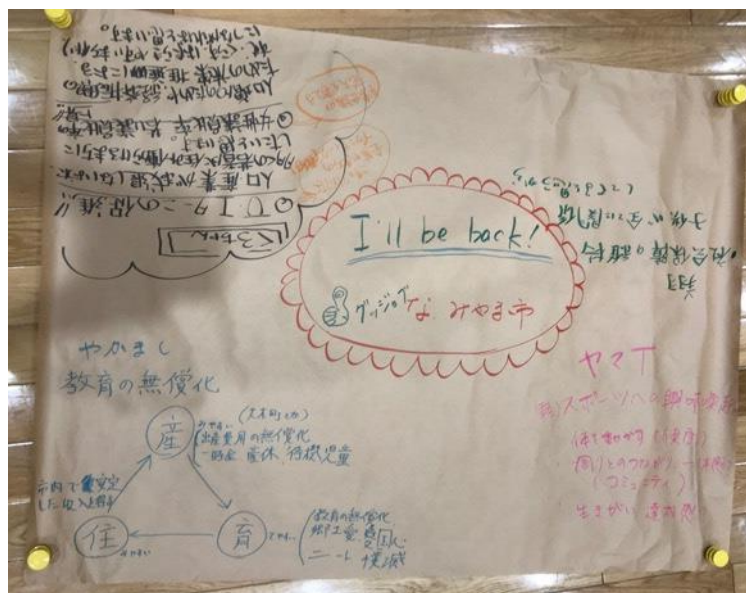
- 日時：2019年7月28日（日）9時～12時
- 場所：みやま市消防署 1階 会議室
- 会議次第：
 1. 市長挨拶
 2. 委嘱状交付
 3. 委員紹介
 4. 地方創生未来会議の位置付け
 5. 2030SDGs カードゲーム体験
- 出席者数：18名

(2) ワークショップ内容

- 2030SDGs カードゲームを通して SDGs を体験的に学び、2030 年のみやま市で参加者が取り組んでみたいプロジェクトについて各グループでアイデア出しを行い、“こんなみやま市になったらいい”を各グループで決め、内容を全体共有。



(模造紙参考)



SDGs を実行に移すためのキーワードでもある「バックカスティング (未来の姿から逆算して現在の施策を考える発想)」の手法を使い、各グループ内で各人が 2030 年のみやま市で参加者が取り組んでみたいプロジェクトを共有し、共通のキーワードなどからまとめ、各グループの“こんなみやま市になったらいい”を決定(模造紙の中央)。これをもとに、各グループのテーマを決定。

SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)

- 2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に示された、2016 年から 2030 年までの国際目標。
- カードゲーム「2030 SDGs」は、SDGs の 17 の目標を達成するために、現在から 2030 年までの道のりを体験するゲームです。SDGs という言葉を知るだけでなく、普段の生活にどう繋げるか、ゲームを通して考えることができます。



2. 第2回目

(1) 実施概要

- 日時：2019年8月25日（日）9時～12時
- 場所：清水山荘 1階 研修室
- 会議次第：
 1. 開会挨拶
 2. 前回の振り返りと今後の進め方
 3. ワークショップ
 - ・アンケートの共有
 - ・SWOT分析
 - ・全体共有
- 出席者数：16名

(2) ワークショップ内容

- 事前に依頼していたアンケート内容をもとに事務局で5テーマ（4グループ）にグループ分け。

《各テーマ》（※①と③は同グループ）

① 一次産業の持続的な成長

「漁農業の成長産業化」をイメージした大規模農業やIoT活用など

② 一次産業×健康

健康的な人の暮らしをベースにした一次産業の発展

③ 地域の稼ぐ力の向上：「産業・地域における「稼ぐ力」の向上」をイメージした、農業の6次産業化など既存産業の活性化

④ みやまスタイルの働き方

「U・Iターンの促進」をイメージした、自由な働き方、女性・高齢者の短時間労働の創出など

⑤ 未来に繋がる子どもの教育

「子育て支援」「学校教育の充実」をイメージした、教育関連

- 各テーマに関連して考えてきたことや市民アンケートの結果を共有し、その情報をもとにSWOT分析を実施。
- 戦略内容や参加者自身や参加者が属する組織の役割や実現可能性について『SWOT分析 戦略検討シート』を作成。最後に各グループ内の戦略内容を全体共有。



SWOT 分析

強みや弱み、これからのみやま市の状況（機会・脅威）を考え、その組み合わせから戦略を検討。



SWOT分析 戦略検討シート	
強み or 弱み	機会 or 脅威
×	
戦略内容	
自分や組織の役割	実現可能性 %

SWOT 分析をもとに、よいと思う戦略アイディアを検討し、自分や組織の役割、実現可

能性（％）について考えました。





3. 第3回目

(1) 実施概要

- 日時：2019年9月29日（日）9時～12時
- 場所：ルフラン（旧山川南部小学校）
- 会議次第：
 1. 開会挨拶
 2. 前回の振り返りと今後の進め方
 3. ワークショップ
 - ・戦略のブラッシュアップ
 - ・具体的な実行のアクションの検討
 - ・全体共有
- 出席者数：15名

(2) ワークショップ内容

- 前回のワークショップで出た戦略アイディアを振り返り、『戦略優先順位シート』を作成。
さらに、戦略アイディアについて、
「地域の置かれている状況を踏まえたものか？」
「優先順位の高い取り組みか？」
「より優先度の高い施策にするための工夫は？」
「自分たちが貢献できることを盛り込めているか？」
等の視点からディスカッションを行い、追加して盛り込むべき要素を付箋に書き出し、戦略をブラッシュアップ。
- 具体的に実行していくために、『ステークホルダーマップ』を作成し、各ステークホルダーが取り組む必要があることを洗い出し。
- ステークホルダーが取り組む必要があることに対し、誰がいつどのようなことに取り組むのか『戦略アクションシート』を作成。
- 各グループのアイディアを全体共有。

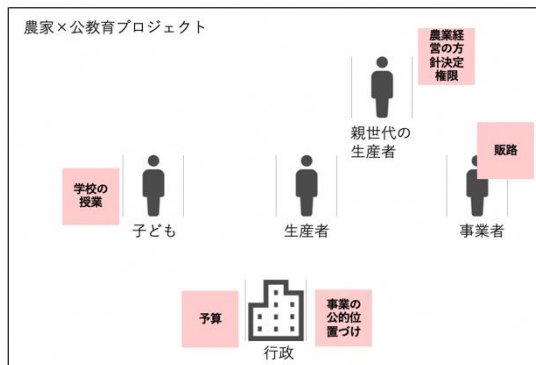


第2回ワークショップで出た戦略アイデア

①	グループ	1.3	生産力 × 生産者の減少
	戦略	若手経営者による農業の大規模化と経営拡大	
②	グループ	1.3	豊かな自然と農産物×機械化、AI、IoT
	戦略	IoT・AIの導入、発展による楽で安定した農業の実現	
③	グループ	2	情報の収集×AI、5技術
	戦略	仕事・作業の経験蓄積（ビッグデータ）による効率化（肩乗りインコ）	
④	グループ	2	農業が盛ん×健康志向の上昇
	戦略	オーガニック・ビーガン対応食品の開発（組織化・PR）	
⑤	グループ	4	農業が盛ん×人口減少・就業者不足
	戦略	空き家を活用した農業インターンシップ	
⑥	グループ	4	セロリが特産×知名度UP、人口減少対策
	戦略	セロリマラソン	
⑦	グループ	5	豊かな自然×郷土愛の薄れ
	戦略	ネイチャーサバイバル教育（郷土愛の醸成、生きるためのスキル）	
⑧	グループ	5	自然・高齢化×いのしし対策
	戦略	有害鳥獣の食材化（廃校舎活用）	

戦略優先順位シート		チーム番号：
今後のみやま市では、		
なぜなら、		
それに対して		

戦略優先順位シート



戦略アクションプランシート

チーム番号:

具体的なアクション	実施主体	実施年度				
		R2	R3	R4	R5	R6

ステークホルダーマップ

戦略アクションプランシート

4. 第4回目

(1) 実施概要

- 日時：2019年11月7日（木）19時～21時
- 場所：みやま市消防署 1階 会議室
- 会議次第：
 - 市長挨拶
 - 戦略の確認
 - ワークショップ
 - 全体振り返り
 - 今後のアクションについて
 - 全体共有
 - 閉会挨拶
- 出席者数：15名

(2) ワークショップ内容

- 全4回の地方創生未来会議について各自でふりかえりシートを作成しグループ内で内容を共有。
- 今後のアクションについて各自で宣誓書を作成し全体共有。





ふりかえりシート

みやま市未来会議（2019年）

ふりかえりシート

・ 過去、全4回のワークショップをふりかえりして、いかがでしたか？

・ 楽しかったこと、嬉しかったこと、新たな気づき、決意など、思い当たることがあれば、自由に記述ください。

・ すべてを埋める必要はありません。ご自由に！

お名前

第一回目印象的だったこと	第二回目印象的だったこと	三回目印象的だったこと	いま印象的に感じる事
嬉しかったこと	興味深かったこと	役に立ったこと	もどかしく思ったこと
くだらないなと思ったこと	胸にぐっときたこと	やっぱり大事だと思ったこと	

宣誓書

宣言書

わたくし _____ は、

_____ な みやま市の未来のために

一、 _____

二、 _____、

三、 _____ ことを宣言します。

Ⅲ. 総括

1. 地方創生未来会議の成果

地方創生未来会議において、SDGs の視点を取り入れワークショップで検討した内容が、ひと・まち・しごと創生会議への提案を経て「第2期みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に反映されるとともに、施策化に向けた継続検討がなされることとなった。

また、これからのみやま市のリーダーとなる世代が集まり、みやま市について語り、それぞれの立場から何ができるかを一緒に考える機会を持ったことで、今後のみやま市のまちづくりに資するネットワークづくりとなった。

2. 今後期待されること

今後、地方創生未来会議の提案が施策として具体化する中で、総合戦略の取り組みとして国等の補助事業等を活用した新規事業として推進されるとともに、当該会議で形成されたネットワークが活用されることにより、多種多様な団体間の対話やまちづくりへの参画が促進され、官民連携の先進的な取り組みや新たなビジネスモデルの創出へとつながっていくことが期待される。

参考資料

● SWOT 分析（強み・弱み・機会・驚異） 第2回目 8月25日（日）

グループ	強み	弱み	機会	脅威
①③	・多くの農産物がある ・市大半が農地 ・ビニールハウスが多い ・部会が大きい ・地域のつながりが残っている ・農業はどれだけでも拡大できる ・土地を集めやすい ・自然の豊かさやのどかな風景 ・生産物を買取る会社がある	・高齢化 ・農家人口が減っている ・資本力がない ・草刈りが辛い、農機具は高い ・個人経営や家庭経営がほとんど ・農家さんが儲けようとせず、保守的な考えの人が多い ・世代交代の遅さ ・雇用が少なく、人材や担い手不足	・少子高齢化 ・人口減少 ・宿泊施設が少ない ・自然災害 ・高速道路の手前にガソリンスタンドがない	・農作物などを作る作り手がいなくなる ・気候や自然災害 ・日米貿易協定、TDP など ・政治に対する意識が薄い ・農業に興味がない ・外国からの輸入、外国人労働者 ・日本の人口減少 ・軽減税率や日本の自給率が30%以下であること
②	・自然、農業環境が整っている ・農産物が多い ・ごみの分別 ・お祭りなどの行事 ・結束力の高さ ・モノ、エネルギーの地産地消 ・保育料 ・健康意識	・コミュニティ不足 ・交通の不便さやインフラの悪さ ・害虫の多さ ・労働力不足 ・農地が多すぎるため、開発が難しい ・医療費が高い ・飲食店の減少	・エネルギー資源が多い ・外国人労働者の増加 ・5G	・交通機関が少ない ・給食費、医療費が高い ・歩道の整備 ・後継者不足
④	・ゆとりがある人、土地 ・自然が多くて農業が盛ん ・車があればアクセスには困らない ・観光に強い ・セロリの生産が西日本一 ・ご近所さんとの連携が強い ・交通量が少ないため混雑しない	・仕事のジャンルが限られている ・西鉄バスが無く、電車の本数も少ないので二次交通に困る ・コンビニ、飲食店、遊ぶ場所が少ない ・商店街の衰退	・余っている土地が多い ・くすっぴー（バス）の利用を増やす ・ネット社会 ・農業体験の実施 ・ゆとり、自由の思考を市民が持っていること ・空き家の増加 ・外国人労働者、移住者の増加 ・AI の導入による機械化の進行 ・高級化志向	・少子高齢化 ・人口減少 ・宿泊施設が少ない ・自然災害 ・高速道路の手前にガソリンスタンドがない
⑤	・子供たちの安心安全に対する意識の高さ ・自然、農業が盛ん ・公民館や図書館などの共同施設の活動が活発 ・給食が美味しい ・保育園が多いため待機児童が少ない	・古い校舎などの建物の老朽化 ・外や内においても遊ぶ場所が少ない ・家が建てにくい ・人口減少に伴い、学校の1クラスの児童数が少ない ・PTA 組織が大変 ・先生が若く、ベテランが少ない	・里親制度 ・古墳などの文化財がある ・新学習制度の導入によるキャリア教育の推進 ・給食、教育の無償化 ・子ども工場 ・IOT、AI などの機械化や通信の高速化	・お店が少ない ・他市が子育て政策を充実させている（筑後市、大木町） ・子どものいじめ、不登校問題 ・電子通貨の普及によるキャッシュレス ・過疎化

● 戦略検討シート

第2回目 8月25日(日)

グループ①・③

強み	機会
生産者 × 生産者の減少	
戦略内容 生産者の減少に伴い若手経営者が台頭して大規模化していくことや、小規模精鋭化による経営拡大を目指す。	
戦略における個人や組織の役割 ・個人が組織を変え、組織が個人を変える ・政治への積極的参入	
実現可能性 95%	

グループ②

弱み	機会
精度の高い情報が得にくい × AIと5Gが発達する	
戦略内容 ・仕事や作業の情報、経験値の蓄積 ・個人のバイタルチェックを行う ・気象情報等のリアルタイムの情報を得る ・コミュニケーションを行う 合わせて高齢者の見守りなどを行う	
戦略における個人や組織の役割 ・情報通信のインフラ整備（5G） ・必要な情報の提供 ・協力企業の誘致	
実現可能性 30%	

グループ④

強み	機会
セロリが特産 × 観光、知名度人口増加	
戦略内容 ・セロリをバトンにしてリレーマラソン ・みやまの施設を回る ・補給ポイントにセロリスープなど、みやまの特産を置く ・最後はバトンのセロリをみんなで食べる ・ゴールはライブ会場（臨時くすび一号） ・宿泊は山荘	
戦略における個人や組織の役割 ・セロリ農家 ・道の確保 ・アーティスト確保 ・補給物のための各企業の協力 ・運営者	
実現可能性 5%	

グループ⑤

強み	脅威
豊かな自然 × 郷土愛の薄れ	
戦略内容 豊かな自然を生かした体験学習を通して郷土愛を育み、スキルを身に付けて災害時にも対応できる力を育成させる ネイチャーサバイバル教育	
戦略における個人や組織の役割 ・サバイバー、講師 ・医師会	
実現可能性 80%	

強み	機会
自然豊か・多くの農産物×機械化・AI・IOT	
戦略内容 AI・IOTの導入、発展によって楽に安定した農業の実現	
戦略における個人や組織の役割 ・栽培技術の数値化 ・郷土愛を持つ ・補助金、助成金（組織）	
実現可能性 95%	

強み	機会
農業がさかん × 健康志向の向上	
戦略内容 ・オーガニックビーガン対応の食品の開発 ・専用の組織を作る ・みやま市の特徴となるようなPRをする	
戦略における個人や組織の役割 ・農作物は作る ・市がPRを行う ・知識を持っている人を探す	
実現可能性 100%	

強み	脅威
農業がさかん × 人口減少 就業者不足	
戦略内容 ・農業のインターンシップ ・空き家を利用して、移住まで含めたインターンシップ生の滞在場所	
戦略における個人や組織の役割 ・農家と空き家所有者の協力 ・高校、大学との連携 ・清水山荘	
実現可能性 50%	

強み	脅威
自然・高齢化 × イノシシの被害	
戦略内容 農産物の被害軽減を図りながら廃校舎の有効活用もして、事業を展開する	
戦略における個人や組織の役割 ・猟友会→講師 ・市→施設や助成金	
実現可能性 80%	

- 地方創生未来会議 アクションシート まとめ 第3回目 9月29日(日)

【戦略：若手経営者による農業の大規模化と経営拡大】

具体的なアクション	実施主体	実施年度				
		R2	R3	R4	R5	R6
農業テクノロジー博の実施	JA?					
農地に関する勉強会	市?					

【戦略：地元企業博と移住促進とまちのブランディング】

具体的なアクション	実施主体	実施年度				
		R2	R3	R4	R5	R6
まちのブランディングアクション	JC	●	●	●	●	●
地元企業博の実施	JC	●	●	●	●	●
起業誘致	JC	●	●	●	●	●
移住促進	JC	●	●	●	●	●

【戦略：⑤空き家活用農業インターンシップ】

具体的なアクション	実施主体	実施年度
-----------	------	------

		R2	R3	R4	R5	R6
空き家を持っている世帯に提案	実行委員会	●				
受け入れ農家探し	実行委員会	●				
高校・大学に希望者を募る	実行委員会		●			

【戦略：⑥ゼロリマラソン】

具体的なアクション	実施主体	実施年度				
		R2	R3	R4	R5	R6
実行委員会をつくる		●				
コースの検討	実行委員会	●				
中間でふるまうみやまの食べ物を提供してくれる所を探す	実行委員会		●			

【戦略：⑦ネイチャーサバイバル教育】

具体的なアクション	実施主体	実施年度				
		R2	R3	R4	R5	R6
内容・実施主体の検討	行政及び 実行委員会	●				
指導者の育成・施設確認	行政及び 実行委員会	●	●			
学校との協議＊総合的学習？	行政及び 実行委員会	●	●			